※令和４年度以降入学生用

学校番号	102

令和８年度　国語科

教科	国語科	科目	論理国語	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「精選論理国語」　（三省堂）						
副教材等	「デジタル版　新訂国語図説　六訂版」　（啓隆社） 「入試頻出漢字＋現代文重要語彙　ＴＯＰ2500　四訂版」　（三省堂） 「読む力をつけるノンフィクション選　中高生のための文章読本」　（筑摩書房） 「グランステップ現代文２（論理・文学・実用）解答書冊子タイプ」　（尚文出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業においては、課題に対して真摯に取り組み、周囲の人との協働活動で、自らを高めましょう。
・様々な文章を読みながら、多面的な考えに触れ、自身が感じたことや考えたことを、より適切に表現することができるよう、学びを深めましょう。
・家庭学習の貴重な時間を計画的に過ごすことで、自身の学びをより厚みのあるものにしましょう。
・読書を通じて、特に著者の思考、表現の工夫について学びましょう。

2　学習の到達目標

・社会人として必要な国語の知識や技能を身につける。
・主に、論理的・批判的に考える力、他者との関わりの中での伝える力を高め、自身の思考、判断、表現の幅を広げたり深めたりする。
・生涯にわたって読書に親しむ習慣を身につけ、言葉がもつ価値への認識を深め、国語を尊重し、人生を豊かにしようとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増やし、文章の中で使うことをとおして、五感を磨き語彙を豊かにしている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的、批判的に考える力を延ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	論理国語へのいざない ［教材］ 情報の「メタ」化	a：文や文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解を深めている。 b[読]：文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。 c：進んで文や文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解を深め、学習課題に沿って、論理の展開を的確に捉えて要旨を把握し、文章の内容について説明したり話し合ったりしようとしている。	定期考査	定期考査	振り返りシート
	「情報社会」を生きるⅠ ［教材］ マルジャーナの知恵	a 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[読]： 設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深めたりしている。 c：進んで論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、学習課題に沿って、複数の文章や資料を基に自分の考えを広げ、論述したり討論したりしようとしている。	定期考査	定期考査	振り返りシート
	言葉をみつめるⅠ ［教材］ 記号を使う動物 ［教材］ つなげる力 ［教材］ ゲノム編集と iPS 細胞	a：言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 b[読]：関連する文章や資料を基に、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めている。 c：進んで言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする言葉の働きを理解し、学習課題に沿って、関連する文章の書き手の立場や目的を考えながら内容の解釈を深め、比較して論じようとしている。	定期考査	定期考査	振り返りシート
二学期	芸術について考える ［教材］ ミロのヴィーナス	a： 主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。 b[書]：多面的・多角的な視点から自分の考えを見直したり、根拠や論拠の吟味を重ねたりして、主張を明確にしている。 c：進んで主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深め、学習の見通しをもって、多面的・多角的な視点から自分の考えを見直し、考察した内容をまとめようとしている。	定期考査	定期考査	振り返りシート
	「市民社会」について考える ［教材］ 「である」ことと「する」こと	a：論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[読]：文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉えている。 c： 進んで論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、学習課題に沿って、資料との関係を把握して内容や構成を的確に捉え、自分の	定期考査	定期考査	振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

		考えを論述したり討論したりしようとしている。			
	言葉をみつめるⅡ ［教材］ 「対話」の言葉をつくる	a：言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 b[書]： 情報の妥当性や信頼性を吟味しながら、自分の立場や論点を明確にして、主張を支える適切な根拠をそろえている。 c：進んで言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする言葉の働きを理解し、学習の見通しをもって、情報の妥当性や信頼性を吟味しながら自分の立場や論点を明確にし、自分の考えをまとめようとしている。	定期考査	定期考査	振り返りシート
	経済について考える ［教材］ 「私」消え、止まらぬ連鎖	a 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[書]：実社会や学術的な学習の基礎に関する事柄について、書き手の立場や論点などの様々な観点から情報を収集、整理して、目的や意図に応じた適切な題材を決めている c：進んで論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、学習の見通しをもって、様々な観点から情報を収集して適切な題材を決め、自分の考えを論述しようとしている。	定期考査	定期考査	振り返りシート
三学期	国際社会を考える ［教材］ スポーツとナショナリズム	a：文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 b[読]：人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めている。 c：進んで、文章の構成や展開の仕方について理解を深め、学習課題に沿って、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付け、自分の考えを論述しようとしている。	定期考査	定期考査	振り返りシート
	心と向き合う ［教材］ 恐怖とは何か	a：文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 b[読]：文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している。 c：進んで文章の構成や展開の仕方について理解を深め、学習課題に沿って、論理の展開や表現の仕方について多面的・多角的な視点から評価し、文章の内容をもとに自分の考えを論述したり、討論したりしようとしている。	定期考査	定期考査	振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　0　）時間

・書くこと　…　（　25　）時間

・読むこと　…　（　45　）時間